

発言No. 13

令和
平成 3 年 2 月 15 日
10 時 48 分 受付
受付No. 16

一般質問発言通告書

議席番号 3 番 氏名 西川 真午

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 市民の声を市政に反映させる方法について

- (1) 現状と課題について
 - ① 現在行っている市民の声を市政に反映させる方法と、その成果及び課題について問う。
- (2) 今後の方針について
 - ① 今後、協働のまちづくりを推進する上で、さらに市民参画を促す方法についての方針を問う。

2. 歴史文化保存展示施設について

- (1) 専門検討委員会の状況について
 - ① 展示部会の協議の状況について問う。
 - ② 活用部会の協議の状況について問う。
- (2) 今後の進め方について
 - ① 今後の検討内容とスケジュールについて問う。

発言No. 14

受付No. 14

令和 3年 2月 15日
10時 43分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 12番

氏名 笹田 卓

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 久保田市政 10 年を振り返って

(1) 浜田市の水産業について

- ① 久保田市長就任時の水揚量、水揚高と現在の推移について、それぞれ伺う。
- ② 久保田市長就任時の漁業者、仲買人、水産加工業者の数と現在の推移について伺う。
- ③ この数字について、久保田市長はどのような見解を持っているのか伺う。

(2) 浜田市の人口について

- ① 久保田市長就任時の人口と現在の推移について伺う。
- ② 久保田市長就任時の幼小中の人口、出生数と現在の推移について、それぞれ伺う。
- ③ 久保田市長就任時の高齢化率と現在の高齢化率について伺う。
- ④ これらの数字について、久保田市長はどのような見解を持っているのか伺う。

(3) 「元気な浜田」について

- ① この 10 年でどう「元気な浜田」になったのか久保田市長に伺う。

発言No. 15

受付No. 13

令和 3 年 2 月 15 日
10 時 4 / 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番 氏名 小川 稔宏

答弁を求める者 (○をつける) 市長 () 教育長 () 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 タクシー事業者への支援策について

民間路線バスの減便、路線廃止に加えタクシー事業者の休業により、中山間の公共交通は危機的状況にあり、維持・存続のための対策は急務である。

(1) 2020年末に休業されたタクシー事業について

- ①市の現状認識と市民生活への影響について伺う。
- ②事業者の要望への対応状況と課題について伺う。
- ③タクシー事業者支援に対する市と県の役割分担について伺う。

2 誰もが暮らしやすいまちの環境づくりについて

(1) ヘルプマークの普及・啓発について

外見からは分かりにくいのが援助や配慮を必要とする方が、周囲の方に知らせるためのツールだが、市民の理解が広がっていない現状がある。

- ①ヘルプマークの交付数と認知度について伺う。
- ②公共交通機関等での周知状況について伺う。

(2) コミュニケーション支援希望カードについて

マスク着用が当たり前の日常生活で、口元が見えず話しかけられても気づかないこと、ビニールカーテン等で聞き取りづらいことを相手に伝えることのできる「支援希望カード」を市が作成し周知してくれたら助かるとの声がある。

- ①耳が聞こえない、聞こえづらい人等が、傷病に関わらず使えるカードの製作について伺う。

3 子どもの精神的満足度、幸福度の改善について

2020年9月に国連児童基金（ユニセフ）が公表した報告書では日本の子どもの精神的幸福度は38カ国中37位となっている。コロナ禍で多くの学校行事の中止や規模縮小により、子ども達は不満足な学校生活を強いられ、さらに深刻化している状況にある。

(1) 子どもたちの満足度、幸福度を向上させるための取組について

- ①コロナ禍でも学校行事の中止、縮小をせず実施する努力がされているか現状を伺う。
- ②上意下達でなく子どもたちが納得できる対応が必要であり、子ども達の意見を反映できる仕組づくりを求めたいが、市長の所見を伺う。

発言No.

16

受付No.

3

令和 3 年 2 月 15 日
8 時 58 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 2 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者

市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 高度衛生管理型荷さばき所について

当市にとって、念願であった施設「7号荷さばき所」が昨年より供用が開始となり、「4号荷さばき所」も令和4年度の完成を目指している。供用が開始し衛生管理対策を図ることにより、「浜田港四季のお魚」、「どんちっち三魚」、「沖獲れ一番」などブランドの推進、販路拡大や商品開発など、取り組んでいる政策にとって非常に重要な施設であるが、施設を供用し、衛生管理を行うのは主にJF職員と生産者であり、従事者にとって魚価向上、生産性の向上など、メリットがある施設なのか、市の重要施設として十分に機能することでブランド力の向上になるのか、という視点で以下の通り質問する。

- ① 供用開始前から令和2年2月までと供用開始から令和3年2月を比較して7号荷さばき所で扱う魚価に変化があったのか伺う。
- ② 7号の供用開始から現在まで施設利用者から、問題点の指摘やトラブル、それらに対し改善されたことがあったのか伺う。
- ③ 現在使われている木製魚箱が今後、衛生管理基準を満たさないため、使用禁止となり発泡スチロール製かプラスチック製パレットの使用が義務化されることになる。

木箱から発泡スチロール箱になった場合の箱コストの増大、箱の容量がおよそ半分になることから積み荷の増加、規格外となる魚のロスなど多くの負担が予想されるが、市として漁箱変更にかかる生産者への負担について、考えを伺う。

- ④ 衛生管理を行うため、漁船も仕様変更をしなければならないことから、設備投資が必要となる。水揚げ高が低迷している中、生産者にとって新たな負担となることが予想されるが、市として生産者が衛生管理に伴う新たな設備投資に対しどのように関り支援を行うのか伺う。
- ⑤ 衛生管理対策により生産者の業務量は増えることになり、人手不足が進んでいる状況下で更なる負担が増えることで労働条件が悪化し、さらに深刻な人出不足になるのではと懸念しており、ブランド力を維持していくためにも省力化、効率化を図る必要があり、取り組んでいる自治体もあり、積極的に省力化と効率化を進めるべきだと思うが、市としての考えを伺う。

発言 NO

17

受付 NO

8

令和3年 2月 15日

10 時 06分 受付

個人一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員地域地

発言項目及び要旨

1. コロナ禍での中山間地域活性化について

新型コロナウイルス感染症により、都市部では在宅勤務や新たな働き方や生活様式の取り組みが進められるようになった。今後、一極集中のリスク回避に向けた行動が官民挙げて本格化していくと考えられる。浜田市においても、「特定地域づくり事業」等で市内企業等への就職と定住を目指し、成果が出ていると聞く。長期化するコロナ禍は人々の思考、ライフスタイル、企業のあり方から国のあり様まで見つめなおす絶好の機会と考える。以下、地域資源の有効活用、安全・安心に暮らせる地域づくり、移住・定住促進、食・エネルギーの地産地消について伺う。

(1) 廃校など地域資源の有効活用について

その活用方法によっては、地域活性化の源泉となるとの思いで、以下のとおり質問する。

① 公立幼稚園の統合後、また、旭の放課後児童クラブのバイパス工事に伴う移転により、今まで広い部屋、校庭でのびのびと生活をしてきた子どもたちの今後を心配される保護者も多い、それぞれの特性を活かした場所が必要と思うが考えを尋ねる。

(2) 安全・安心に暮らせる地域づくりについて

中山間地域の住民が、安心・安全で心豊かに暮らし、「これからも住み続けたい」と実感できる地域づくりについて、以下のとおり質問する。

- ① コロナ禍により外出自粛時の高齢者を見守り支える、移動販売車の重要性が今まで以上に増したと思われる。業者との連携など今後の見解について伺う。
- ② 地元タクシー業者の多くが、コロナ禍のなか、利用者減少で、経営の存在が怪しくなっていると聞く、どのように地域住民の移動手段を確保するのか尋ねる。
- ③ 一人親家族・独居老人の皆さんが、コロナ禍で家族の移動制限によって孤立し、認知症機能の低下が心配される状況だが、訪問活動や見守り活動をどう進める考えか尋ねる。

(3) 移住・定住促進について

都市部の若者に地方に転職したい意識が広がっている。このことについて、以下のとおり質問する。

- ① 今後どのような方針と対策で本市への移住・定住を促進していくつもりかを伺う。
- ② 移住促進の基となりうる空き家バンクの有効利用は進展しているのか尋ねる。
- ③ コロナ禍で外国の研修生や県外からの労働者の孤立感に対し浜田市はどうか対応し、寄り添っているのか尋ねる。

(4) 食・エネルギーの地産地消について

昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大で内食が高まった。宅配便取扱量は、巣ごもり消費の影響で大幅に増加したとある。このことについて、以下のとおり質問する。

- ① 食料限定の地産地消でなく、エネルギーも含め、今こそ地産地消に力を入れるべきではないか、ご所見を伺う。(近頃コンビニでも県外産の野菜等が多く売られている。)
- ② 太陽光発電の買取期間が満了した後の自家消費拡大の支援について伺う。
- ③ 「浜田市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民と連携し温暖化対策を具体的にどう進めていくのか伺う。